一般　歴史文化遺産の保護と継承の取り組みについて

横山　陽仁（至誠の絆）

歴史文化遺産の保護と継承の取組について一般質問を行った。

Q　昨年に行った秋葉灯篭の調査は。

A　秋葉信仰と街道がしずおか遺産に認定されたため、灯篭を調査し、パンフレットにまとめた。

Q　文化財活用地域計画について

A　他市の動向や策定に向けての課題など、情報収集している。

Q　10年計画をやめ、3年計画ごとに見直しをする等、時代に沿った計画に直したらどうか。

A　5年後、中間評価を行うこととしており、見直しの機会を設けている。

Q　文化的価値のあるものの記録散逸防止は。

A　顕彰会や保存会の方々との連携を図りリスト化するところから始めたい。

Q　資料の貯蔵庫の整備について

A　今、古文書は図書館の一室、埋蔵文化財はどきどきや代官屋敷資料館などで保管しているが、スペースは不足した状態である。市としても必要性は認識している。

Q　展示場について

A　現在はある施設を活用して、情報発信を強化していく。

應聲教院の山門

一般　公立北こども園の役割と使命を問う

織部　光男（無所属）

菊川市の令和5年度保育園、幼稚園、こども園の入園者数は、前年度より95名の減少です。公立は北幼稚園だけになります。その為、役割に期待が寄せられているのです。

Q　医療的ケア児全児童を公立で受け入れますか。

A　対象児童の全てを受け入れるのではなく、民間幼保施設では対応が難しい児童について、公立園で受け入れるよう取り組んでいくものであります。

Q　北こども園の定員は何名にするのですか。

A　定員数は92名であり、内訳は1号認定53名、2号認定27名、3号認定12名であります。

Q　話合いを多く持ち、支援体制を整えるとあるが、なにをやるのですか。

A　公立園の保育士が各園を訪問し、それぞれの園で抱えている課題や実情を把握するとともに、課題の解決に向け、各園の保育士とともに対応を検討していく体制を整えてまいります。

Q　質の高い教育・研修のソース（情報源、発信源）は何ですか。

A　公開保育を行い、保育士の実践の場を見ていただき、現場での対応について議論することで、質を高めてまいります。

Q　おおぞら認定こども園が民営化したら、今いる障害、医療的ケアの方はどうなりますか。

A　北こども園で、実施している特別保育という部分、そこを引き継ぐようなことを考えております。